

「第11回製剤機械技術研究会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 11th NAKAI Award of the Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員長 檀上 和美

Kazumi DANJO

Chair of Selection Committee of the Nakai Award

本研究会では創立10周年を機に、平成13年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

本年度は応募件数が3件で、本仲井賞選考委員会(平成22年12月—平成23年1月の持ち回り審議)において、新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記2グループの候補者を「第11回製剤機械技術研究会仲井賞」受賞者として会長に報告し授賞者が決定いたしました。

記

- ・受 付 番 号：22—03
- ・受 賞 者：辻本 広行 (ホソカワミクロン株式会社)
川島 嘉明 (愛知学院大学薬学部)
- ・授賞業績題目：医工薬／産官学の研究体制を特徴とする PLGA ナノスフェアシステムのプラットフォームとナノメディカルシステムの展開及び実用化
- ・授 賞 理 由：候補者が開発した PLGA ナノスフェアシステム(特許出願28件)は、産官学の連携により長年にわたり研究を行い、数多くの成果を挙げられた。特に、PLGA ナノスフェアは従来のマイクロスフェアのサイズをダウンサイジングした技術であり、ナノサイズまで小さくすることにより、その体内動態などが大きく変化する。そのため吸収性や QOL の改善のための DDS 製剤などに利用することが可能である。このような技術は、化粧品や育毛剤としてすでに上市されており、この技術の実用性化と生産性に関しては十分な成果が見られる。医薬品等の製剤分野では、現在、遺伝子治療薬の分野において研究が続けられており将来大いに期待が持てる。以上のことより、仲井賞に相応しい業績であると考えます。

- ・受 付 番 号：22—02
- ・受 賞 者：鵜野澤一臣（フロイント産業株式会社）
武井 成通（フロイント産業株式会社）
磯部 重実（フロイント産業株式会社）
平井由梨子（フロイント産業株式会社）
- ・授賞業績題目：高性能タブレットコーター「ハイコーター FZ」の開発
- ・授 賞 理 由：フィルムコーティング操作は、従来機では長時間の処理が必要であり、これを短縮しようとするれば、外観の不良が発生する。候補者らが開発した高性能タブレットコーター「ハイコーター FZ」（特許出願 3 件）は外観不良を抑制しつつスプレー速度を速くすることを可能にした。また、層内へ熱画像センサーを設置することにより、コーティング状態をリアルタイムにモニタリングするなど PAT 技術も確立しており、生産性および品質の向上を成し遂げ、過去種々検討されたコーティングのスプレー速度倍増を達成したことは特に実用性・製剤生産工程における貢献度において、高く評価される。以上より、仲井賞に相応しい業績と考える。